



特別活動プロジェクト研究通信(No.5)



「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てる小学校の特別活動 一学級活動における個々の意思決定とそれに基づく実践の充実を通して



10月10日(木)、B校にて第5学年Y教諭による実証授業および研究協議会を開催しました。授業の内容や子どもたちの様子、研究協議で話し合ったことを中心にお伝えします。

第5学年 学級活動(3)ウ「進んで取り組む自主学习」

つかむ		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;">  アンケートの提示 </div> <div style="background-color: lightblue; padding: 5px;">  自分たちの現状を客観的に把握する </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>事前に自主学习に係るアンケートを実施し、自分の自主学习の取組について振り返りました。本時では「自主学习に一生懸命取り組んでいますか」「何のために自主学习を行っていますか」などのアンケート結果を基に、自主学习に対する自分たちのこれまでの頑張りを認めるとともに、自主学习の目的を考え取り組むことの大切さを共有しました。</p> </div>
さぐる		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;">  インタビュー動画の提示 </div> <div style="background-color: lightblue; padding: 5px;">  自主学习の目的(何のために)や意義(よさ)を考える </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>1学年上の6年生の児童に、自主学习に関するインタビューを行い、撮影した動画を授業で提示しました。インタビュー動画を見た後、児童に印象的だった言葉を尋ねると、「新しいことを知るために頑張っている」「自主学习に取り組むと授業がより分かるようになる」など、自主学习の目的や意義について発言していました。Y教諭は児童の発言から「新しいことを知る」「得意なことを伸ばす」「次の授業に向けて」などのキーワードを板書し、児童が自主学习の目的や意義を意識してなりたい自分の姿を記述できるようにしました。</p> </div>
見つける		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;">  「目標ボード」と1人1台端末の活用 </div> <div style="background-color: lightblue; padding: 5px;">  仲間との話し合いを生かして考えを広げる </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>自主学习に関し、何を、いつ、どのように取り組むかを付箋に書き、「目標ボード」に貼りながら交流しました。「1日10~15分は復習をする」「1日10個漢字の練習をする」「12月までに30ページする」など様々な目標を書き、交流する姿が見られました。 また、各グループの「目標ボード」を1人1台端末で共有することで、他のグループの「目標ボード」を自分の手元で見られるようにし、自分の目標を決定する際の参考にできるようにしました。</p> </div>
決める		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;">  「なりたい自分になりまシート」の活用 </div> <div style="background-color: lightblue; padding: 5px;">  自分に合った具体的な解決方法(目標)を決める </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>1人1台端末上の「目標ボード」や「なりたい自分になりまシート」に示されている考え方(自分に合った具体的な目標を考えよう・目標に数字を入れよう)などを参考に、自分の目標を決めました。</p> </div>

研究協議より

①児童は問題意識をもつことができたか

- ◆ アンケート結果のグラフが見やすく整理されていた。子どもたちは二つのグラフを比較できていた。
- ◆ アンケート結果とインタビュー動画を提示することで、自分たちの現状と6年生の取組を比較でき、問題意識の高まりにつながった。
- ◆ 6年生のインタビュー動画を見て拍手を送る子どももいたことから、6年生に対する憧れを抱くきっかけになった。
- ◆ インタビュー動画を基に引き出した「授業が分かるために」「新しいことを知る」などのポイントを整理して板書することで、今の自分はどれに関心があるかを考えるきっかけになる。
- ◆ ずっと継続して取り組んでいることは、自分の課題を見つめなおすことからスタートしてもよい。

②児童は「目標ボード」を活用することで考えを広げることができたか

- ◆ 仲間同士で教え合う雰囲気があった。
- ◆ 「目標ボード」にたくさんの目標を集めることができたが、付箋の数にこだわりすぎている様子も見られた。
- ◆ 思考を整理する上で、「目標ボード」にベン図を取り入れたことは、思考を整理する上で有効だった。どのようなキーワードで分けするかは吟味が必要。
- ◆ 知識的な学習内容だけでなく、探究的な学習に取り組もうとする子どもを評価したい。
- ◆ 子どもの実態に応じ、1人1枚「目標ボード」を活用して、互いの目標について妥当性を話し合う活動もよい。
- ◆ 自分の目標を自己評価・他者評価し、メタ認知することも必要。

③児童は「なりたい自分になりまシート」を活用して、自分に合った具体的な目標を決めたり、「なりたい自分の姿」に関連した目標を書いたりすることができたか

- ◆ どの子どもも目標設定がしっかりできていた。
- ◆ 以前より「なりたい自分の姿」と「自分の目標」を区別できていた。
- ◆ 数字を入れて具体的な目標を書いている子どもがたくさんいた。
- ◆ なりたい自分につながる目標を書けていたかどうかは検証が必要。



④今後の取組について

- ◆ なりたい自分に向けて努力したことを評価したい。
- ◆ 子どもたちが実践を振り返り、やりがい、達成感、自分の成長などを共有できる機会を大事にしたい。



研究員の編集後記 「『量より質』にこだわりたいAさん」

bさんは6月の学級活動(2)「友だちを大切にするために」の授業で、なりたい自分の姿を「仲間を大切にする人」、目標を「1日1回もっと仲間を大切にするとしました。素敵な記述ではありますが、なりたい自分の姿と目標が若干混同してしまっていることがうかがえます。Y先生は「なりたい自分の姿を子どもたちなりに描き、それに向けて、何を、いつ、どのくらいするのか、目標を決められるようになってほしい」と願い、授業実践を続けられました。

今回の授業でbさんは、大切なことを覚えるには丁寧に学習する必要があると考え、なりたい自分の姿を「量より質にこだわる自分」、目標を「漢字を1日10回練習する」としました。以前に比べ、なりたい自分の姿に近づくための具体的な目標を書いていることがうかがえます。この記述を見て、Y先生のこれまでの授業実践の積み重ねや本時で講じた手立ての効果を感じました。その後bさんは、授業を見ていた先生に、具体的な目標を決められたことを「すごい！」とほめられました。しかしbさんは冷静に言います。

「すごいのは、やり遂げたとき」

目標は実践してこそ価値があることを、もう経験の中で学んでいるのだと思います。実践を大事にするbさんの考え方に感心しました。一方で、指導者もまた冷静に、「やり遂げられなかったとしても努力できたことがあなたのいいところだね」と、頑張ろうとしたことを認めていきたいと感じました。

滋賀県総合教育センター 研究員 中波 慎